

大学院 工学研究科

建設工学専攻

授業科目および単位数

学 生 便 覧

2022年度より抜粋



中部大学

建設工学専攻（博士前期課程）

授 業 科 目		単位数	持続社会創成教育プログラム	
特別	土木工学分野	土木工学特別研究 A	2	・土木工学分野 指導教授の指導のもとに、特別研究 A, B を含め、30 単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出し、その審査及び試験に合格すること。 ・建築学分野 指導教授の指導のもとに、特別演習 A, B を含め、30 単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究の成果を提出し、その審査及び試験に合格すること。
		土木工学特別研究 B	2	
		土木工学特別研究 C	2	
		土木工学特別研究 D	2	
研究	建築学分野	建築学特別演習 A	2	
		建築学特別演習 B	2	
		建築学特別演習 C	2	
		建築学特別演習 D	2	
専門	土木工学分野	構造工学特論 A	2	
		鉄筋コンクリート構造特論	2	
		地盤力学特論	2	
		構造工学特論 B	2	
		コンクリート工学特論	2	
		水環境工学特論	2	
		地盤工学特論	2	
		都市デザイン特論	2	
	交通計画特論	2		
	建築学分野	耐震構造設計特論	2	
		応用弾性学特論	2	
		建築材料学特論	2	
		建築環境工学特論	2	
		建築環境デザイン演習	2	
		西洋建築特論	2	
		日本建築特論	2	
都市計画特論		2		
建築計画特論	2			
分野共通科目	数値解析学	特論・演習 A	2	
		特論・演習 B	2	
		社会実習 A	2	
		社会実習 B	2	
研究科共通科目	高速現象と可視化技術	工業数学特別講義	2	
		情報理工学特別講義	2	
		原子力工学特別講義	2	
		技術英語特別講義 A	2	
		技術英語特別講義 B	2	

授 業 科 目		単位数	持続社会創成教育プログラム	
持 続 社 会 創 成 科 目	S D G s と 資 源 利 用	1		10単位 以上修得す ること。
	S D G s と 共 生 社 会	1		
	人 類 の 文 化 と 科 学 技 術	1		
	コ ン セ プ ト ・ デ ザ イ ン	1		
	科 学 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	1		
	A I の 基 礎	1		
	A I の 実 践	1		
	基 礎 か ら 学 ぶ 実 践 デ ー タ サ イ エ ン ス	1		
	微 生 物 ・ 植 物 ・ 動 物 の 理 解	1		
	企 業 経 営 の 理 解 と 実 践	1		
	社 会 デ ザ イ ン 探 求	1		
	樹 冠 生 態 観 察 を 通 じ た 実 践 英 会 話	1		
	地 球 か ら 地 域 を 視 る	1		
プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン 英 語 I	1			
プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン 英 語 II	1			

※大学院博士前期課程修了で一級建築士受験の実務年数1年を得る場合は、社会実習A、Bの単位修得の他、所定の単位を修得し、かつ、建築学特別演習では修士設計としなければならない。

持続社会創成教育プログラムを選択しない者は、持続社会創成科目の理由に関して中部大学学則第9条3の4（P113）を参照すること。
持続社会創成教育プログラムを選択した者は、持続社会創成教育プログラム（P108）を参照すること。

建設工学専攻（博士後期課程）

（単位数に○印のある科目は必須科目）

授 業 科 目		単位数	
特 別 研 究	建 設 工 学 特 別 研 究 A	④	指導教授の指導のもとに、8単位修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出し、その審査及び試験に合格すること。
	建 設 工 学 特 別 研 究 B	④	